



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町  
マスコット  
キャラクター  
「カーミン」

# かみかわ

第70号

令和4年1月12日



寺前小学校マラソン大会

議案審議の様子 ..... 2 ~ 5

委員会の活動 ..... 6 ~ 9

3人が登壇 いっぱん質問 ..... 10 ~ 13



藤後秀喜代表監査委員

## 人事案件（3件）

### ①〔副町長の選任〕

令和3年12月10日で任期満了となる副町長の職に、前田義人氏が引き続き選任されました。

### ②〔監査委員の選任〕

平成25年12月9日から2期8年間、代表監査委員として、ご尽力いただきました清瀬茂生氏が退任されました。その後任として藤後秀喜氏が選任されました。

第104回定例会は、12月7日から22日までの16日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、町から人事案件3件、条例の制定及び一部改正4件、公の施設の指定管理者指定8件、補正予算8件の計23件、議会から選挙2件、発委1件の計3件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決、同意しました。

また、一般質問は、3人の議員が行い、4期目の山名町政への提案や方針等について質疑応答が行われました。

### ③〔教育委員会委員の任命〕

平成12年から教育委員会委員としてご活躍されています藤原雄三氏の任期が令和3年12月20日で満了となります。引き続き委員に任命されました。

### 条例制定・一部改正（4件）

#### ①〔交通安全対策基金条例制定〕

兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う当町への配分額約3000万円 の処理として、今後の交通安全対策予算の財源として活用するため、基金を創設するものです。

#### ②〔行政手続に関する押印見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例制定〕

行政手続をデジタル化

するため、押印や署名の見直しを進め、町職員の仕事の宣誓に関する条例

その他3つの条例の一部改正をするもので、令和4年4月から実施されます。

#### ③〔手数料条例の一部改正〕

令和3年4月の介護報酬改正で、新型コロナウイルス感染症対応として、9月まで特例を設けていたものを10月以降は延長しないことへの改正です。

#### ④〔国民保険条例の一部改正〕

健康保険法施行令等の一部改正により、出産育児一時金の額を改正するものです。現行の40万4000円から40万8000円に引き上げ、加算額

を現行の1万6000円から1万2000円に改めるものです。

#### 補正予算

#### 〔令和3年度一般会計（第5号）〕

歳入歳出それぞれ2261万円を追加し、総額をそれぞれ84億8864万4000円とするものです。

歳入の主なものは、国からの障害者自立支援給付費等負担金の増額、交通災害共済設立基金配分金（当共済組合の解散による町への配分金）の追加、ふるさとづくり応援寄附金（ふるさと納税）の増額、峰山高原スキー場施設使用料の増額等です。

また、商店街お買い物・ポイントシール事業補助金の減額、地方創生推進

交付金（機能性野菜に関する補助金）の減額、地籍調査事業委託金の減額等があります。

歳入の主なものは、交通安全対策基金積立金の追加、障害者介護給付費等の増額、観光施設事業者支援金の増額、林道補修工事請負費の増額等です。また、財政調整基金積立金の減額、機能性野菜6次産業化事業補助金の減額、学校施設等の修繕費等の減額等があります。

〔令和3年度一般会計(第6号)〕

本補正予算は、議会最終日に追加提案されました。

歳入歳出それぞれ7506万4000円を追加し、総額をそれぞれ85億6370万8000円とするものです。

歳入歳出ともに子育て世帯への臨時特別給付金事業に関わるものです。(詳細は4頁に掲載)

〔令和3年度国民健康保険事業特別会計(第3号)〕

医療費の高い伸びが春先から推移しており、その補正をするものです。歳入歳出それぞれ9401万7000円を追加し、総額をそれぞれ14億1423万3000円とするものです。

〔令和3年度公立神崎総合病院事業会計(第3号)〕

収入は、新型コロナウイルス感染症対策事業にかかる県補助金・国庫補助金で1億4051万5

000円を増額し、病院事業収益合計を35億7187万1000円とし、支出は、病院事業費用合計で896万5000円を増額し、35億2350万1000円とするものです。

選挙(2件)

①「兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員」

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会の議員として副町長がその職に就いていましたが、令和3年12月10日で任期満了となったため、当議員の選挙が行われました。選挙は指名推選により、副町長の前田義人氏が再選されました。

②「選挙管理委員会委員及び同補充員」

選挙管理委員会委員及び同補充員が令和3年12月8日に任期満了となり、指名推選で選挙が行われました。なお、前選挙管理委員長の前田洋子氏、委員長

職務代理者の入江洋二郎氏は、このたび退任されることになりました。長年にわたりご尽力いただきありがとうございます。

●選挙管理委員会委員

- 田中 洋一ひろかず氏
- 岸田 眞砂美まさみ氏
- 辻井 光明あきみつ氏
- 足立 昌子しょうこ氏

●選挙管理委員会補充員

- ①片岡 さとみ氏
  - ②木下 隆生たかお氏
  - ③難波 千咲子ちさきこ氏
  - ④山名 実良みよし氏
- ※番号は補充の順序

●公の施設の指定管理者指定(8件)

それぞれの施設の指定管理者と指定期間を定めるものです。(下記別表参照)

(別表) 公の施設の指定管理者一覧表

施設名称	指定管理者	指定期間
神河町観光交流センター	一般社団法人 神河町観光協会	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間
新田ふるさと村	株式会社 MEリゾート播磨	令和4年4月1日から 令和14年3月31日まで10年間
神崎木工芸センター 「かんざきピノキオ館」	株式会社 山田営農	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間
神崎農村公園 「ヨーデルの森」	パーク・コミュニティ・ 猪篠共同事業体	令和4年4月1日から 令和14年3月31日まで10年間
かみかわ桜の山桜華園	東柏尾区	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間
神河町水車公園	農産物消費組合	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間
ホテルモンテ・ローザ	株式会社 田舎暮し	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間
わくわく公園	株式会社 田舎暮し	令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで5年間

※「グリーンエコー笠形」については指定管理者を選考中です。

## 国へ意見書を提出

発委第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いています。この中で、地方財政は巨額な財源不足が避けられない厳しい状況です。地域の実情に応じた行政サービスを持続的に提供していくために不可欠な地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を強く求め、神河町議会として意見書を提出する発委があり、全員が提出に賛同しました。

## 第103回臨時会

11月30日開催

## 議案審議

### 令和3年度一般会計

### 補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ83万2800円を追加し、総額を8億6603万4000円とするものです。

コロナ禍の子育て世帯を支援する「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業(現金5万円支給)」の増額と3回目のコロナワクチン接種の体制確保と接種の推進経費の増額が主なものです。

**Q** 給付金10万円は、現金5万円とクーポン券5万円で支給することが原則であるが、当町はどうするのか。

**A** 町内事業所への経済循環を考えると、クーポン券だが、十分精査して検討する。

**Q** 町独自でスピーディーな給付ができるのか。

**A** プッシュ型(\*下記給付方法参照)は、早く給付できる。申請型になると口座情報等の申請手続が必要になり、時間がかかる。早急に給付できるように努める。

### コロナワクチン3回目接種

コロナワクチン3回目の追加接種は、12月から医療従事者への接種が始まります。予診票・接種券は、医療従事者、高齢者、基礎疾患者、一般の方の順で発送されます。3回目接種は、2回目接種から8か月経過後となりますので、2月中旬頃より高齢者から順に予定しています。



## 子育て世帯への臨時特別給付金について

令和3年度一般会計補正予算(第4号)、(第6号)で可決となりました子育て世帯への臨時特別給付金事業(10万円給付)は、補正予算(第4号)で、5万円の現金先行給付が可決され、残り5万円はクーポン券で発行するか検討していました。

しかし、国から地域の実情に応じて自治体の判断で現金一括10万円給付も可能であると示されたため、当町では、年末年始の消費需要の負担を支援するため、児童手当支援対象者に年内に現金一括10万円給付とする補正予算(第6号)が提案され可決しました。

### ★給付対象児童

児童手当支給対象の18歳以下の児童に臨時特別給付金(現金10万円)が、給付されます。

- 令和3年9月分の児童手当支給対象児童
- 令和4年3月31日までに生まれた児童

- 令和3年9月末現在、神河町に住民票がある高校生(平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれ)



### ★給付方法

児童手当支給の仕組みを活用し、プッシュ型で給付します。

\*プッシュ型…申請不要で対象者に給付する方法。

※高校生と令和3年10月以降令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童については、口座情報等が把握できないため、申請型になります。

## 議案等の審議結果

◆全員賛成で可決した議案◆ ※第103回臨時会(11月30日開催)

議案番号	件名
第119号	令和3年度神河町一般会計補正予算(第4号)

◆全員賛成で可決・同意した議案等◆ ※第104回定例会(12月7日~12月22日開催)

発委番号	件名
第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

議案番号	件名
第120号	神河町副町長の選任の件
第121号	神河町監査委員の選任の件
第122号	神河町教育委員会委員の任命の件
第123号	神河町交通安全対策基金条例制定の件
第124号	神河町行政手続に関する押印見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件
第125号	神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第126号	神河町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件
第127号	神河町公の施設(神河町観光交流センター)の指定管理者指定の件
第128号	神河町公の施設(新田ふるさと村)の指定管理者指定の件
第129号	神河町公の施設(神崎木工芸センター「かざきピノキオ館」)の指定管理者指定の件
第130号	神河町公の施設(神崎農村公園「ヨーデルの森」)の指定管理者指定の件
第131号	神河町公の施設(かみかわ桜の山桜華園)の指定管理者指定の件
第132号	神河町公の施設(神河町水車公園)の指定管理者指定の件
第133号	神河町公の施設(ホテルモンテ・ローザ)の指定管理者指定の件
第134号	神河町公の施設(わくわく公園)の指定管理者指定の件
第135号	令和3年度神河町一般会計補正予算(第5号)
第136号	令和3年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
第137号	令和3年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)
第138号	令和3年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
第139号	令和3年度神河町水道事業会計補正予算(第2号)
第140号	令和3年度神河町下水道事業会計補正予算(第2号)
第141号	令和3年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第3号)
第142号	令和3年度神河町一般会計補正予算(第6号)

件名
神河町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙の件
兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙の件

姫路・宍粟土木事務所に要望書を提出しました

県道加美宍粟線改良促進議会連絡協議会(神河町議会・宍粟市議会)で「主要地方道加美宍粟線」の整備促進のため、県土木事務所(姫路・宍粟土木事務所)に要望書を提出し、意見交換会を行いました。

神河町議会の要望事項は次のとおりです。

- ① 神河町福本から柏尾までの自転車、歩行者の安全対策
  - ② 神河町上小田地内の早期拡幅改良(L=670メートル)
  - ③ 温度計の設置による冬の安全対策
  - ④ 宍粟市一宮町本谷から神河町上小田間のトンネル計画の検討
- 土木事務所からの回答は次のとおりです。  
① 令和5年度までの着手箇所として位置づけています。

② 二車線が確保できていない150メートルの区間の拡幅整備の詳細設計を実施中である。

③ 温度計設置の優先度を見極めて検討していきたい。

④ 費用対効果、交通量以外の効果など、今後、検討、研究していく。

今後協議会として、根気よく継続して要望していくこととしています。



挨拶をする栗原産業建設常任委員長



要望書を渡す藤森副委員長(右)

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教常任委員会

11月8日開催

教育課

●神崎郡3町で運営している病児病後児保育施設の9月末の登録者数は94人で、うち神河町は38人です。4月からの利用実績は22人です。

●学校通信ネットワーク整備事業は、11月から全小学校児童・中学校生徒がタブレット端末を自宅に持ち帰り、家庭学習に利用する取組を始めました。インターネット環境がない家庭には、必要な機器を貸し出しています。

●ワールドマスターステージムズ2021関西は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年に延期の予定でしたが、令和8年5月に再延期されます。11月7日に太田

ダム公園周辺で、オリエンテーリング競技のプレ大会が参加者137人で実施されました。

●認定こども園の取組状況は、整備費の補助制度がなくなったことや保育士の確保が困難なことが課題となっています。

**Q** 町内には、保護者が就労していなくても0歳から3歳の子どもを受け入れてもらえる施設がない。対応が必要では。

**A** 保育園・保育所の認定こども園への移行や幼稚園への受入体制も含めて、幼児教育の在り方をしっかり考える。

●学校給食への異物混入は、今年度は9月末までに7件発生しています。混入の原因は、給食センターが3件、神崎フードが2件、不明が2件です。年間の件数は、令和元年度20件、令和2年度17件と減ってきています。

税務課

●納税者のニーズの高まり、新型コロナウイルス感染症予防を含めた住民サービス向上の観点から令和4年度にスマートフォン決済による町税と上下水道使用料の納付方法を導入する準備を進めています。

●新型コロナウイルスの影響による町税等の減免は、令和2年度は、国民健康保険税(12件)180万4942円、介護保険料(5件)26万1970円です。令和3年度は、国民健康保険税(3件)47万8100円、介護保険料(1件)6万3720円となっています。

会計課

令和3年9月末の現金等保管総額は、54億6467万4272円です。9月末の一時借入金はありません。一時預貯金は8億円です。例年、12月以降は資金不足を生じて

借入していました。今年には必要ない見込みです。

総務課

●令和4年度に神河町公共施設等総合管理計画(平成28年策定)の更新を予定しています。また、施設ごとの修繕や更新・長寿命化改修などを計画的に行うために、個別施設計画を策定する予定です。

●大規模災害発生に備え、役場本庁舎の非常用発電機の更新を進めています。併せて、1階事務室が浸水した場合を想定して、コンピュータの配線などの点検と対策、業務継続に最低限必要な電力量の調査、検討も行っています。

●土砂災害相互情報システムの河川映像と河川水位グラフを、CATVの文字放送画面で同時に見ることができるようになりました。(詳細は、広報かみかわ12月号8頁をご覧ください。)

●会計年度任用職員の給料表について、兵庫県の最低賃金が10月1日から928円になったことから、1級1号給が最低賃金以下となるので、高卒初任給を1級2号給とし、在職する会計年度任用職員の号給をそれぞれ1号給引き上げていきます。

●地域自治協議会の設立に向けて、8月の区長会で概要を説明、10月にはブロック別に説明会を開催し、意見交換が行われました。その後も、区から要望があれば、区役員や住民対象の説明会が行われています。

地域自治協議会設立の目的や効果をしっかりと説明し、全ての人々が共通認識をして、地域づくりが進められて行くように要望しました。



11月5日開催

← 公立神崎総合病院

**Q** 高額な機器であるMRIやCTは充分に活用されているか。患者は、検査結果で自分の状態が把握できるので、検査に活用されると安心して思うが。

**A** 技師一人当たりの検査件数を他院と比較すると当院は少ない。しかし、医療の中で必要な検査は行っている。今後、開業医からの依頼で検査だけできる共同利用という体制が取れないか模索する。このことにより、公立神崎総合病院には高精度な機器が整備されているというPRにならないかと考えている。

**Q** 令和元年度の加東市市民病院(病床数139床)と公立神崎総合病院(病床数140床)の医師等の人数を比較すると、医師は加東市が14人に対

し神河町が20人、看護師は80人に対し92人、医療技術員は24人に対し53人となっている。病床数は同規模であるにも関わらず、なぜこんなにも差があるのか。

**A** 直営と委託の違いがある。公立神崎総合病院は、給食業務や医事課業務等すべてを直営で行っている。加東市民病院の状況が分からないため、その辺りの違いも含めて調査する。

← 健康福祉課

**Q** インフルエンザワクチンの自己負担金1500円が免除されたのは65歳以上の方と中学3年生以下の方であるが、高校1年生から64歳までの方に対する補助は。

**A** 今回、新型コロナウイルス臨時交付金で、集団感染(学級閉鎖や学年閉鎖の可能性)が起こらないように高校受験を控える中学3年生までの方、インフルエンザ、コロナに

かかるとう重症化しやすい高齢者を対象に無料化した。また、40歳から64歳の身体障害者手帳1級保持者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害のある方と生活保護受給世帯の方も無料とした。全町民無料が理想であるが、財政的に難しい。

**Q** 生活支援協議体と地域自治協議会の違いとは。

**A** 地域自治協議会という大きな括りがあり、その中に生活支援協議体、福祉、スポーツクラブ、農業振興、その他の部会があるというものである。

← 住民生活課

**Q** 防災事業で高輝度LEDバルーン非常用照明5器と停電用非常用照明(LEDランタン)12台が納品済みであるが、災害時の電源確保は。

**A** 高輝度LEDバルーン非常用照明は、大

きく白く光る照明で、避難所あるいは体育館が停電になったときに発電機で電源をとる。LEDランタンの電源は乾電池で、男女トイレにそれぞれ1台ずつ手元を照らすために設置する。



LED バルーン照明

**Q** 防犯対策として、特殊詐欺被害対策グッズの簡易型自動録音機(録音チュー)を1400個購入しているが、全世帯4000個分を購入しなかったのはなぜか。

**A** 特殊詐欺の対象となりそうな高齢者世帯、ひとり暮らし世帯等を抽出し、当初の配付先を738世帯とした。1400個購入し、先行配付した738世帯の検証を行い、今後、全世帯配付も含め考えたい。

← 上下水道課

10月3日に起きました和歌山市の水管橋落橋事故を受け、課員で町内の水管橋の点検を行った結果、落橋の恐れのある水管橋はなかったと報告を受けました。

**Q** 平成29年度、30年度からみて漏水の件数はどのような傾向にあるか。

**A** 本管、給水管ともに平成29年度は件数が極端に増えたが、平成30年度からは毎年本管の大きな更新工事を実施しているため、本管の漏水は確実に減ってきている。

**Q** 町内では石綿管は使っていない認識であったが、データでは20メートル使われているがどういうことか。

**A** 石綿を使う鋳鉄管のことで、更新頻度のランクも低く、健康被害が及ぶものではない。

## 産業建設常任委員会 現場調査 (10月26日開催)

10月26日に産業建設常任委員会で現地調査を行いました。各現場で担当者等から進捗状況等の説明を聞き、調査を行いました。



シイタケ  
菌床貸工場  
(福本区)



イチゴハウス  
(作畑区)



ニンジンジュース工場  
建設予定地 (山田区)



町道作畑・新田線  
道路改良工事 (新田区)



道の駅  
アンテナ  
ショップ  
(吉富区)



急傾斜地  
崩壊対策事業  
(本村区)



旧大山小学校  
跡地整備 (大山区)



峰山高原施設内道路改修工事  
(上小田区)



## 産業建設常任委員会

11月2日開催

### 建設課

●町道水走り中河原線は、(株)野村土木が受注した第3工区工事が6月末で工事完了したため、寺前区内の工事は完了しました。

●県道加美穴栗線との交差点から町道寺前停車場線交差点までの工事は、9月1日に入札を執行し、松本工業(株)が落札されました。

●民有林林道事業で林道石穴線1号橋(淵区)、林道奥山支線1号橋(新田区)の2橋の補修工事を9月15日に入札執行し、2橋一括で(株)藤原組が落札されました。



林道奥山支線1号橋工事状況

### 地籍課

地籍事業は、計画どおり順調に進捗しています。

**Q** 事業の見直しで、計画年度が変更になったが、この見直しによって、町単独事業の地籍調査が増えそうである。町単独事業の増加で一般財源はどのくらい増えるのか。

**A** 町営事業で地籍調査を実施すると、事業費の2分の1は国、4分の1は県から補助が出る。残りの4分の1が町負担であるが、そのうち80%が特別交付税算入されるため、町負担は事業費の5%である。

令和3年度は157万円、令和4年度は382万2000円が町負担となる。

### 地域振興課

**Q** 穴栗市では、林業従事者を確保し、育成しようとする事業体を支

援するための補助制度が始まり、他業種から林業へ参入する事業体が3社あった。他業種から参入を促す制度の創設、人材育成など当町の方針は。

**A** 町全体の間伐を進めていこうとしたときに、森林組合だけでは難しい状況があると認識している。(株)川上建設、(株)山田林業、住友林業(株)も参入してきているが、新規参入は難しいところがあるため、育成をしたいと考えている。

**Q** ユズを特産品、推奨品として勧めるのであれば、しっかりと取り組んでほしい。ユズに限らず、神河町の農作物について特産品とするのであれば、大きな展望の中で1つの方針を持って対応してもらいたい。

**A** 全ての生産物、農産物に関して、今後、対応、対策をしていく必要がある。そういう視点で取り組んでいく。

### ひとまち・みらい課

**Q** 旧粟賀小学校跡地に設置予定の図書館機能を持ったコミュニティ施設の建設費の予算は。また、今後のスケジュールは。

**A** 建設費は5億から6億で考えている。令和4年度で基本設計と詳細設計、令和5年度で工事着工、令和6年度供用開始と考えている。

### 《アグリ関係》

**Q** ニンジンジュース工場の用地取得費、建築費や機器購入費等、一切、町費負担はないという事でよいか。確約をお願いしたい。

**A** そのとおりである。町費の負担はない。

### 《デマンド交通》

**Q** 本年度は、公共交通のアドバイザーを招いて検討会を開催しているが、現在、どのような方向性で何を検討しているのか。

**A** 現在、コミバスという形で公共交通を運行しているが、費用負担を増やすことなく、デマンド交通を取り入れられないか、昨年度の長谷地区での試験運用の結果を踏まえ、検討している。今は、10時から15時の運行について、事業者と協議している。



コミュニティバス (日野ポンチョ)

# みなさんの **声** を

# 町政に

**一般質問** は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は3人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
11	栗原 廣哉 議員	①コミュニティバスの運行状況と新交通(デマンド型)導入検討の進捗状況並びにスクールバス構想について ②若者世帯に対する支援制度はかなり充実しているが、移住・定住を考えている若者に対する支援制度はどのようになっているのか	2月1日(火) 午後7:00~
12	吉岡 嘉宏 議員	①再生可能エネルギーに対する今後の取組は ②町職員の人材育成のための施策は ③犬の飼い方について	2月1日(火) 午後8:00~
13	小島 義次 議員	①山名町政4期目において継続と発展の政策を問う ②人口減少でも持続できるコンパクトシティへの移行はどう考えているか	2月2日(水) 午後7:00~

## 主な議会日程

2月  
4日(金) 産業建設常任委員会  
9日(水) 民生福祉常任委員会  
16日(水) 総務文教常任委員会  
25日(金) 議会運営委員会

3月  
3日(木)・4日(金)  
7日(月)・8日(火)  
10日(木) 総務文教常任委員会  
(付託議案)  
14日(月)・15日(火)  
17日(木)・18日(金)  
24日(木) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります

## 本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染予防ため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

# コミュニティバスの運用状況と新交通 (デマンド型) 導入検討の進捗状況について



栗原 廣哉 議員

町長

これまでも申し上げてきたとおり、今年度中に方向性を取りまとめる予定である。

**Q** 寺前タクシー(有)が廃業したが、寺前駅前の公共交通の状況は。

**A** ひと・まち・みらい課長 寺前タクシー(有)が廃業後、栗賀神姫タクシー(株)が1か月ほど寺前駅前に配車、待機されていたが、利用者がほとんどなかった。現在は、電話受付により配車している。

**Q** コミュニティバスの運行状況は。

**A** ひと・まち・みらい課長 コミュニティバスは13台を運行しており、朝夕は小・中学校の児童・生徒、幼稚園児の通学・通園、また通勤の移動手段となっている。町内3つのJR各駅と役場、公立神崎総合病院、町内4つの谷を運行している。

**Q** デマンドバスの検討状況は。

**A** ひと・まち・みらい課長 朝夕の通学・通勤の時間帯は現状のままコミュニティバスを運行し、利用者の少ない昼間の時

間帯に小型車両に切り替えて、これまで大型バスで入っていけないようなゴミステーションレベルのような路線に切り替えられないか検討している。

**Q** 地域交通会議やコミュニティバス運行計画検討委員会の開催状況は。

**A** ひと・まち・みらい課長 地域交通会議は、開催しているが、コミュニティバス運行計画検討委員会には開催していない。

**Q** なぜ民意が反映できないコミュニティバス運行計画検討委員会を開催しないのか。

**A** 副町長 地域交通会議で一定の方向性を決めてから、住民主体のコミュニティバス運行計画検討委員会を開催する予定である。

**Q** スクールバス構想の検討状況は。

**A** 教育長 現在、庁内の公共交

通の在り方検討会の中で、「公共交通の見直しに向けて」の検討をしている。その中で、コミュニティバスとスクールバスとの役割分担、学校ごとの路線数、費用面、運転手やバスの台数など課題が出てきており、その整理が今後必要になる。基本的には、安全面や体面などに多角的に、また総合的に検討し、より良い方策を探っていくと考えている。

**Q** 移住・定住を考えている若者に対する支援制度はどのようになっているのか

**A** 町長 単身の若者に対する住宅支援制度は、補助対象外となっている。単身の若者は、住環境支援よりも、就労支援などを求める方が多く、創業支援や引っ越し支援、就労支援などの方向性を考えてきた。

**Q** 若者に対する支援は。

**A** 町長 単身の若者に対する住宅支援制度は、補助対象外となっている。単身の若者は、住環境支援よりも、就労支援などを求める方が多く、創業支援や引っ越し支援、就労支援などの方向性を考えてきた。

**A** ひと・まち・みらい課長 町内事業者からも町内で借家が確保できないため、町外で確保せざるを得ない、何とかしてほしいという声を聞いている。今後は、アパートやマンションなど集合住宅の数の充足を目指す方向で考えていくべきではないかと思う。また、空き家利活用も含め、民間活

力の誘導施策や単身世帯向けの住環境確保に向けて取り組んでいくべきではないかと思う。

## ひとこと

常に住民の目線で活動しております。町政でおかしいと思われることや疑問を質問に取り入れていきますので、いろいろな意見をお聞かせ下さい。

- ◎再生可能エネルギーの取組でバイオマス発電の可能性は
- ◎町職員の人材育成のための施策は
- ◎犬のフン害対策について



吉岡 嘉宏 議員

◎再生可能エネルギーに  
対する今後の取組は

**Q** 町の面積の87%を占める山林を活用したバイオマス発電が当町にマッチした取組と思うかどうか。

**A** 温室効果ガスの排出を2050年には100%以上削減を目標としている。目標達成には豊富な森林資源を活用した発電も選択肢であるが、町内の森林資源のみでの木質バイオマス発電には供給料が足りない。

**Q** 素朴な疑問だが、これだけ山林に覆われていて間伐材が足りないのはなぜか。

**A** 1600キロワットの発電所を想定すると、約4万5000トンの間伐材等が必要である。令和2年度の間伐の実績は130ヘクタールで、町内産だけで賄うなら800ヘクタール以上の間伐が必要で現実的でない。町外産の間伐材等が必要となる。

**Q** 町外産の間伐材等が必要なのは理解するが、燃料化するにはチップ業者が必要である。町内で業者の方の用途はあるのか。

**A** 森林組合を含め何件か話はいただいている。チップ工場用地をどうするか考えている。

**Q** どんな進め方をするのか。プロジェクトチームを作るとか役場内で1つの課が担当でなく横断的に取り組まないと進まないと思うが。

**A** 現時点で事業化するかどうかは分からないが、着手するならばタイムスケジュールを立て、見える化を図りたい。

◎町職員の人材育成のための施策は

**Q** 町職員が気持ちよく働き、能力を最大限に引き出す施策は。

**A** 町長 あいさつ、自ら名前を名乗るなどの接遇の基

本に取り組んでいる。このことは役場職員としての自覚を促し、風通しの良い職場に繋がりを、ひいては役場に来られた住民の皆様にも気持ちよくお帰りいただけたらと思う。合わせてハラスメント防止にも取り組んでいる。

総務課長

**A** 各課ごとの朝礼の実施や報告・連絡・相談の実践などを含んだ「リスク管理実践10項目」に取り組み、役場内の信頼関係の形成、接遇面の改善に努めている。

**Q** 管理職と部下のコミュニケーションはしっかり取れているか。

**A** 職員面談で課長が課員の目標達成状況や健康面も含め話し合う場を設け、本人の「気づき」を促している。逆に職員から幹部への「提案制度」も制度化している。年に一度だが「職場状況調査」を行い異動希望、職場の問題点、やりたい

ことなどを直接副町長に報告し、職場のコミュニケーション向上に努めている。

◎犬のフン害対策について

**Q** 道の真ん中に犬の糞が度々落ちており、不快である旨の苦情を聞くが、担当課はどう対応されているか。

**A** 防災行政無線にて飼い主が持ち帰るよう放送をしている。また啓発看板を購入しているので、希望があれば配付している。

**Q** 飼い犬の糞の処理はどうするのか。田畑のない方もおられるが。

**A** 糞に石や土がつかないようにしてナイロン袋等に入れ持ち帰り、家のトイレで流してもらうのが1つの方法である。クリーンセンターに燃えるゴミで出すのはやめていただきたい。

# 山名町政4期目において

## 継続と発展の政策を問う



小島 義次 議員

町長

2050神河町将来ビジョンの策定の中で、  
イメージ、方向性を明確にしていく。

**Q** 継続と発展の政策中、「農地・山林再生への投資、野生動物対策の支援強化」で、山林資源は豊富であるが、その活用があまり進んでいない町の活性化につながる政策はできないものか。

**A** 町長

豊富な森林資源を活用・現金化するためには2つの課題がある。

1つ目は、木を持ち出す林道網の整備と、自走式集材機「スイングヤーダ」や「タワーヤーダ」など高性能林業機械の活用、またドローンによる苗木運搬も視野に入れておく必要がある。2つ目は、木材の多様な売り先、利用方法の確保である。国産材の価格も高騰しているが、これ以上は望めない。製材用素材のみでなく、合板、燃料、パルプ用として複数の売り先の選択が必要である。また、木の加工品の製作販売など林業の6次産業化を進める必要がある。

**Q** 町の特産品は何か。  
**A** 地域振興課長

ミツマタの生産等に取り組んでいるが、特産品となるものはまだない可能性を模索しているところである。

**Q** 近隣の町も山林資源の開発を進めているので、本町も活用法を早く見つけてほしいが。

**A** 地域振興課長

当町の杉材はかつては吉野材として使われたこともあり、品質が良い杉・檜の活用法を考えていく。

**Q** 将来の町の産業の発展の基礎を築くための開発研究室を創設してはどうか。他にはないような新しいものなど付加価値の開発部門、持続を可能にする分野など、専門的に徹底して開発していく取組が必要と思う。30

年先、50年先を見通して町が持続・継続できる政策の実現に力を注いでほしいが、その考えを問う。

**Q** 町長  
**A** 町内産の農産物を活かした特産品開発は今もユズ加工など小規模ながら継続した取組をしている。大量生産ではないが、多品目少量の生産・販売は個性派の現代志向に適している。また「人工林の研究」は現状を突破し、持続可能な地域・国土を作るために町としてぜひ取り組みたい。必要な研究対象を明確にした上で、専門的研究者と連携して施策に反映していく。

産・官・学・金の連携による取組がまちづくり、地域創生である。

**Q** そのような取組はどの課でしているのか。また人材育成や企画は何人ぐらいか。

**A** 町長

新しいシステムの開発はひと・まち・みらい課が窓口になって実施している。企画や人員等は検討中であり、来年度にはビジョンを作成したい。

コンパクトシティへの移行は

**Q** 人口が減少しても町として持続できるコンパクトシティへの移行はどう考えているか。長期スパンで見ると、人口の多い地域に人が集まる傾向にあり、高齢化しても住み慣れた土地で生活を希望される方もある。

人口の多い中心部と少ない周辺地域の違いをどう調整していくのが問われる。スマートシティ構想からスムーズにコンパクトシティへの移行が必要なが点についての考えは。

**A** 町長

コンパクトシティは想定していない。生まれた土地で生活していくのを基本と考える。空き家をどう活用するか等、人口減少をふまえたグラウンドデザインを構築する。

ひとこと

将来を見通した  
安心して住みやすい町づくりを

# まちかどインタビュー

第7回



取材日：12月10日  
取材者：小島義次

第7回は、宮野区でぶどう栽培専門の加門和弘さん一家にお話を伺いました。

## 自己紹介をお願いします

平成13年に退職後、大粒ぶどう栽培に着手、今は80アールに10種類以上の品種を栽培しています。20年間地域の方々に支えられ、全国発送もしています。家族・従業員の皆が元気で作業できているのが自慢です。



加門和弘さん一家

## 町の良ところは

お米、野菜はほんとう

おいしいです。政治への関心が高く、住民参画の意識が強いことと、人々の結びつきも強く、魅力的な自然にあふれた、あたたかい優しい町です。

## 取り組まれていること

「皮ごと食べられるぶどう」にニーズが変化し、毎年魅力的な新品種が開発され、植え替えを進めています。ふるさと納税返礼品に指定され、全国に魅力を発信できればと考えています。

## 苦労されたこと

最初は県農業改良普及センターに相談したり、岡山の農家へ何度も視察に行ったり、失敗を重ねながら勉強しました。突風でビニールハウスが破

損し、収穫ができなかったり、夏の長雨で収穫直前のぶどうが裂果して落胆したり・自然相手の厳しさを痛感しています。

## 若者に住んでもらうには

ネット環境の改善、若者の起業支援等ありますが、なにより若者の「就労」と「子育て」環境が一番です。公立神崎総合病院は診療科が充実しており、子育て世代にとっては安心できます。若者の就活ニーズとマッチできる求人情報の提供や就労支援の窓口が必要です。

## 町の農業を持続していくために

鳥獣害対策！田畑のサル・イノシシの被害に加え、最近ではハクビシン

の被害が増加し、夜間ぶどう棚の上を活発に走り回り食害します。どう猛なうえ個体数が多いため、鳥獣被害防止計画の対象鳥獣にぜひ加えていただき、駆除をお願いします。

認定農家・営農組織にも6次産業化支援の拡充を！山間地では大規模化に限界があり、付加価値化・繁閑の縮小というメリットと、女性・若者も農業の担い手として参加しやすくなると思います。

## 町や町議会に望むこと

一番大事なのは住民の安全安心な暮らし。議会では議員質問のほか、住民にとってよりよいと思える施策や自分の熱い思いを、もっと積極的に提言されてもいいと思います。しっかりと足を運んで、子ども・若者を含むいろんな世代の住民の声を聞いて、町政に反映させてほしいです。朗らかでこれからも接しやすい議員さんであってほしいと希望します。

## あとがき

2020年（令和2年）1月5日、日本で初めて新型コロナウイルス感染症の陽性者が出てから丸2年になる。この2年間私たちは本当によく我慢してきたと思う。3密回避、手洗い、うがい、マスク着用の励行、働き方ではインターネットを使ったリモート会議やテレワークにより、職場に集まる労働者を出来るだけ自宅勤務に。また冠婚葬祭は簡素になった。しかし明けない夜はない、これだけ節制しワクチン接種も進んできた。2022年（令和4年）は寅年、虎の様に強い意志でコロナ禍を乗り越えよう。

（吉岡嘉宏）

## 広報公聴活動調査

### 特別委員会

委員長	小島 義次
副委員長	吉岡 嘉宏
委員	藤森 正晴
委員	栗原 廣哉
委員	澤田 俊一